

資料提供年月日	令和2年3月27日		
問い合わせ先	課名	文化振興課	
	電話	803-1054 (内線3749)	
担当者	担当者	担当課長 課長補佐	岡本 河合

## 広 報 連 絡

- 件名 「公益財団法人岡山文化芸術創造」の設立について
- 設立日 令和2年4月1日(水)
- 設立目的 岡山市の外郭団体である「公益財団法人岡山市スポーツ・文化振興財団」と「公益財団法人岡山シンフォニーホール」は、文化芸術の振興に関する多様な文化事業を創造し展開することにより、地域の文化活動の活性化と文化芸術を担う次世代の人材育成等を図り、市民県民のすこやかで心豊かな生活の向上と地域社会の発展に寄与することを目指し、財団を統合し、新たに「公益財団法人岡山文化芸術創造」を設立します。
- 事業
  - 文化芸術の創造・発信、振興及び普及に関する事業
  - 文化芸術における多世代の交流及び参画の機運醸成に関する事業
  - 文化芸術の担い手育成に関する事業
  - 文化芸術を鑑賞する機会の提供に関する事業
  - 文化芸術活動への支援及び研究に関する事業
  - 文化芸術施設等の管理運営に関する事業
  - その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 役員等 別紙のとおり

## 『（公財）岡山文化芸術創造』役員等予定者

令和2年4月1日 就任予定

五十音順、敬称略

## (1)評議員 定員8人～12人 【任期4年：令和6年6月まで】

氏名	主たる所属・役職
1 大橋 宗志	(公社)岡山県文化連盟 理事
2 片山 浩子	(公財)福武教育文化振興財団 副理事長
3 川端 英男	テレビせとうち(株)代表取締役会長
4 桑田 真治	おかやま信用金庫 理事長
5 佐藤 兼郎	岡山県 副知事
6 菅野 和良	岡山市教育委員会 教育長
7 高木 晶悟	(株)トマト銀行 取締役社長
8 中静 敬一郎	岡山放送(株)代表取締役社長
9 那須 正己	岡山市 副市長
10 榎野 博史	国立大学法人岡山大学 学長
11 松田 久	岡山商工会議所 会頭

## (2)理事 定員8人～12人 【任期2年：令和4年6月まで】

氏名	主たる所属・役職
1 荒島 茂樹	岡山市 市民生活局長
2 石井 清裕	(公社)おかやま観光コンベンション協会 会長
3 草加 叔也	岡山芸術創造劇場(仮称)スーパーバイザー
4 越宗 孝昌	(株)山陽新聞社 相談役
5 高次 秀明	岡山シンフォニーホール 館長
6 谷一 尚	(一財)林原美術館 館長
7 野崎 泰彦	岡山県経営者協会 会長
8 長谷川 誠	岡山市表町商店街連盟 理事長
9 原 憲一	RSKホールディングス(株)代表取締役会長
10 宮長 雅人	(株)中国銀行 取締役会長

## (3)監事 定員2人以内 【任期4年：令和6年6月まで】

氏名	主たる所属・役職
1 井上 信二	日本公認会計士協会 中国会岡山県部会長
2 森脇 正	弁護士

## 「公益財団法人岡山文化芸術創造」の設立について Q&A

①新劇場の運営母体として必要な、高度な専門的人材とは？

○開館に向けて、新財団に人材を確保できるよう段階的に進める。

○来年度は、

- ・新劇場の事業を企画制作し提供するプロデューサー、
- ・舞台関連設備の安全を確保し高度な演出を行うテクニカルディレクター、
- ・管理運営に係る収支、人事・労務、マーケティングなどを担うマネージャー

といった事業や施設の運営の核となる専門的人材を中心に、新たに10名程度採用し、開館に向けた準備を進めていく予定です。

②なぜ、こうした人たちが役員等選ばれたのか？

○新財団は、岡山市が文化行政を一層推進していくための重要なパートナー

○高度な専門的人材等を確保し継続的に文化事業を展開するため、また、その拠点となる劇場を運営していくためには、

- ◆オール岡山県での推進
- ◆情報発信の強化
- ◆事業資金獲得力の強化
- ◆大学との連携
- ◆拠点文化施設である劇場とシンフォニーホールの事業の充実
- ◆文化団体間の連携

などの視点から協力を得る必要があるため選任したものです。

③(具体的には)どのような事業展開を期待するのか？

○これまで培った地域や市民団体とのネットワークを活かした協働交流事業や音楽事業

○新たな専門的人材を中心とする劇場運営事業やプレ事業、開館記念事業など

○岡山からの情報発信につながり、人が集まり、岡山市の文化力の向上へと発展していくような事業展開を期待している。